

平成26年度 基金決算の お知らせ

年度末年金資産は約179億円に

当基金の平成26年度決算が、去る9月9日に開催された第56回代議員会において審議され、全会一致で可決・承認されましたのでお知らせします。

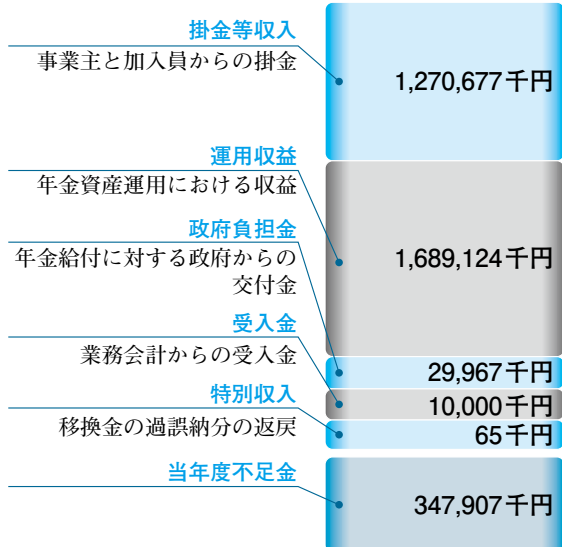
平成26年度の運用環境は国内外ともに景気に改善が見られ、前年度末比の株式市場はともに上昇しました。その結果、当基金の資産運用利回りはプラス10.42%となりましたが、最低責任準備金の算出方法の変更等の理由により、当年度不足金△348百万円を計上しました。この当年度不足金は別途積立金を取り崩し、繰越不足金△152百万円として翌期に繰越されました。

年金経理

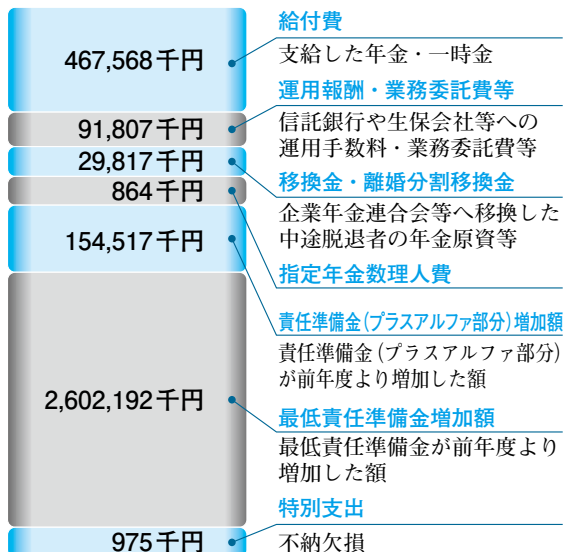
年金・一時金の給付に必要な収支に関する経理です。

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収益勘定 3,347,740千円



費用勘定 3,347,740千円



平成26年度末時点の積立状況

年金資産と責任準備金

下図は、貸借対照表を図式化したものです。資産勘定の「年金資産」と負債勘定の「責任準備金+支払備金等」を比較し、前者が大きい場合は剰余金が生じ、後者が大きい場合は不足金が生じます。

す。平成26年度の最低責任準備金に付利された利回りは11.61%でした。

※「責任準備金」とは、将来の給付に備えて基金が現時点で保有すべき数理上の債務額で、その内訳は基金独自の上乗せ部分に係る「責任準備金(プラスアルファ部分)」と国の代行部分に係る「最低責任準備金」です。

資産勘定 18,213百万円

年金資産 17,865百万円
 信託資産 14,332百万円
 保険資産 3,331百万円
 預貯金等 202百万円

当年度不足金 348百万円

負債勘定 18,213百万円

責任準備金 17,866百万円
 責任準備金(プラスアルファ部分) 2,928百万円
 最低責任準備金 14,938百万円

支払備金等 152百万円

別途積立金 195百万円

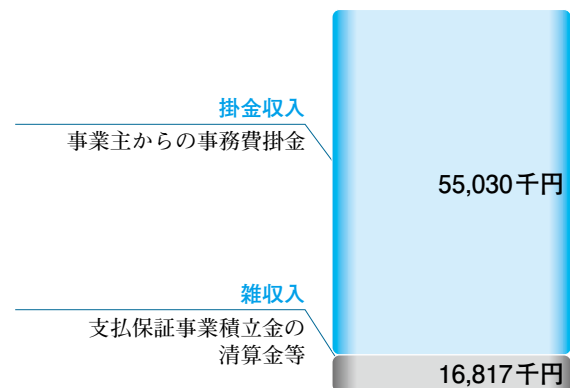
(平成27年3月31日現在)

業務経理・業務会計

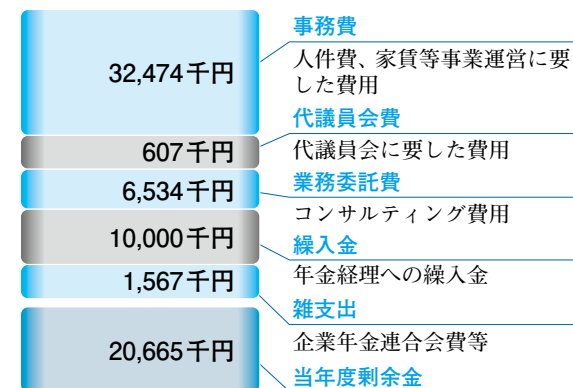
基金の業務に必要な費用に関する会計です。

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収益勘定 71,847千円



費用勘定 71,847千円

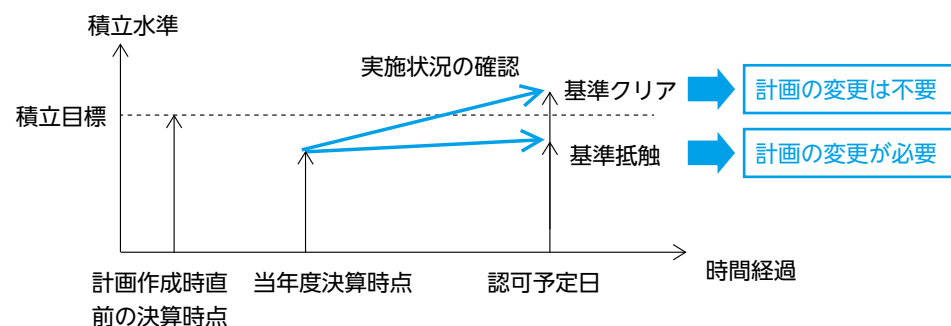


解散計画の実施状況

基金では、今年度から従来の財政検証方法に代えて、解散計画の実施状況を確認するため検証を行っています。これは、解散計画作成時において設定した積立目標に対して、毎年の年度末に解散認可予定日時点の積立目標が達成可能であることをチェックするものです。

平成26年度末の検証においては、当基金の認可予定日における積立水準が目標以上であるため、計画の変更を行う必要はありません。

●毎年の財政検証で計画の実施状況を確認



<解散計画の実施状況>

認可予定日	平成28年4月1日
積立目標	最低責任準備金に対して1.20倍

(金額単位：百万円)

	計画作成時直前の 決算時点	実施状況結果	
		当年度決算時点	認可予定日
①純資産額	15,304	17,713	19,716
②最低責任準備金	12,673	14,938	16,197
積立水準(①/②)	1.20	1.18	1.21
差額(①-②)	2,631	2,775	3,519

※最低責任準備金は計画作成時と同一の基準により算定しているため、「計画作成時直前の決算時点」、「当年度決算時点」の最低責任準備金につきましては、財政決算報告書における貸借対照表上の金額と相違することがあります。